



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月15日

上場会社名 マルシェ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7524 URL <https://www.marche.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 洋嗣

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 藤原 徹二 TEL 06-6624-8100

定時株主総会開催予定日 2020年6月27日 有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	8,362	△2.6	△112	—	△89	—	△361	—
2019年3月期	8,587	0.5	72	△17.6	115	△7.9	52	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	△45.02	—	△13.4	△1.9	△1.3
2019年3月期	6.51	—	1.8	2.2	0.8

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	4,213	2,467	58.6	307.38
2019年3月期	5,148	2,911	56.6	362.71

(参考) 自己資本 2020年3月期 2,467百万円 2019年3月期 2,911百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	△199	△365	△80	1,622
2019年3月期	372	△408	△80	2,269

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00	80	153.7	2.8
2020年3月期	—	5.00	—	0.00	5.00	40	—	1.6
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当につきましては、現時点で未定です。

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

新型コロナウイルスの感染拡大による当社業績への影響は甚大であると認識すると共に、現時点において業績予想の合理的な算定をすることは著しく困難と判断し、2021年3月期の業績予想は未定といたします。なお、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が終息に向かい、その算定が可能と判断した時点をもって、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	8,550,400 株	2019年3月期	8,550,400 株
② 期末自己株式数	2020年3月期	521,998 株	2019年3月期	521,998 株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	8,028,402 株	2019年3月期	8,028,476 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

新型コロナウイルスの感染拡大による当社業績への影響は甚大であると認識すると共に、現時点において業績予想の合理的な算定をすることは著しく困難と判断し、2021年3月期の業績予想は未定といたします。なお、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が終息に向かい、その算定が可能と判断した時点をもって、速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 財務諸表及び主な注記	7
(1) 貸借対照表	7
(2) 損益計算書	9
(3) 株主資本等変動計算書	10
(4) キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復が続いたものの、海外情勢の不安定化、大型台風・豪雨といった自然災害の他、2019年10月に実施された消費増税、2020年1月以降の新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、依然として先行き不透明な状況が続きました。

外食産業におきましては、お客様の選定眼が一層厳しくなる環境の中、小売店等との垣根を越えた競合による競争が更に激しくなっていくに加え、労働需給の逼迫や物流経費の上昇等により非常に厳しい経営環境となりました。

このような経営環境において、当社は『真心第一でお客様にご来店いただく』を年度スローガンに制定した上、『既存店の収益力向上と新業態の開発育成』及び『F C事業の強化』に注力してまいりました。

『既存店の収益力強化と新業態の開発育成』においては、お見送り等の接客力向上を目的とした研修や会議を継続的に実施すると共に、既存店の収益力底上げ施策及び新業態の開発育成を目的として、主に前期に業態開発した「ハッケン酒場」「餃子食堂マルケン」「焼そばセンター」の多店舗展開や新業態の育成に努めてまいりました。その結果、「ハッケン酒場」への業態変更3店舗、「餃子食堂マルケン」への業態変更3店舗、「焼そばセンター」への業態変更2店舗等、合計20店舗の業態変更及び改装を実施し、加えて、「ハッケン酒場」5店舗、「焼そばセンター」1店舗、「餃子食堂マルケン」1店舗等、合計8店舗の新規出店を実施いたしました。

『F C事業の強化』においては、S V（スーパーバイザー）勉強会等を通じたF C加盟店への経営指導力強化は勿論のこと、直営店舗を通じて業態力を育成している「ハッケン酒場」「餃子食堂マルケン」への業態変更やコンセプト・リニューアルの促進に努めてまいりました。その結果、F C加盟店においても新規出店5店舗、「八剣伝」から「ハッケン酒場」へのコンセプト・リニューアル改装5店舗、その他業態変更2店舗につなげることができました。

この様な取組みを行ってまいりましたが、当事業年度における経営成績は、売上高は83億62百万円（前年同期比2.6%減）、営業損失は1億12百万円（前年同期は営業利益72百万円）、経常損失は89百万円（前年同期は経常利益1億15百万円）、当期純損失は3億61百万円（前年同期は当期純利益52百万円）となりました。

【当事業年度の概況】

	前事業年度 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日	当事業年度 自 2019年4月1日 至 2020年3月31日	対前年同期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高 (百万円)	8,587	8,362	△225	△2.6
営業利益又は営業損失(△) (百万円)	72	△112	△184	-
経常利益又は経常損失(△) (百万円)	115	△89	△204	-
当期純利益又は当期純損失(△) (百万円)	52	△361	△413	-
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)	6円51銭	△45円02銭	△51円53銭	-

【売上高の状況】

(単位：千円)

	前事業年度 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日		当事業年度 自 2019年4月1日 至 2020年3月31日		増 減	
		構成比		構成比		増減率
《料飲部門》		%		%		%
酔 虎 伝	1,120,857	13.1	995,022	11.9	△125,834	△11.2
八 剣 伝	2,482,990	28.9	2,470,192	29.5	△12,797	△0.5
居 心 伝	1,212,627	14.1	1,061,604	12.7	△151,023	△12.5
そ の 他	998,290	11.6	1,289,348	15.4	291,057	29.1
串 ま ん	41,387	0.5	37,303	0.5	△4,084	△9.9
八 右 衛 門	133,865	1.6	130,524	1.6	△3,340	△2.5
焼そばセンター	208,314	2.4	373,790	4.5	165,476	79.4
マ ル ケ ン	93,530	1.1	269,298	3.2	175,767	187.9
そ の 他	521,192	6.1	478,430	5.5	△50,186	△8.2
料飲売上高	5,814,765	67.7	5,816,168	70.0	1,402	0.0
《F C 部門》						
ロイヤリティ等売上計	565,395	6.6	528,648	6.3	△36,747	△6.5
《商品部門》						
食 材 等 販 売	1,627,789	19.0	1,486,399	17.8	△141,390	△8.7
酒 類 等 販 売	381,433	4.4	305,602	3.7	△75,830	△19.9
食材、酒類等販売売上高	2,009,222	23.4	1,792,001	21.4	△217,220	△10.8
その他部門売上高	197,733	2.3	225,249	2.7	27,516	13.9
合 計	8,587,117	100.0	8,362,067	100.0	△225,049	△2.6

① 料飲部門の販売の状況

料飲部門全体の売上高は、新規出店等により58億16百万円、前年同期比0.0%の増となりました。直営店における全店及び既存店の売上高、客数及び客単価の前年同期比は、以下のとおりとなります。

	全店			既存店		
	売上高	客数	客単価	売上高	客数	客単価
酔 虎 伝	88.8%	89.2%	99.5%	88.5%	89.2%	99.2%
八 剣 伝	99.5%	101.7%	97.8%	95.5%	96.5%	98.9%
居 心 伝	87.5%	87.7%	99.8%	94.0%	94.0%	99.9%
そ の 他	129.1%	130.7%	98.8%	91.7%	90.6%	101.2%
合 計	100.0%	101.5%	98.5%	93.2%	93.6%	99.5%

(注) 既存店とは、オープン月を含め13ヶ月以上営業している店舗であります。

② F C 部門の販売の状況

F C 部門の売上は、F C 加盟店からのロイヤリティ収入と販促物その他の販売等で、売上高は5億28百万円、前年同期比6.5%の減となりました。

その主な内訳は、ロイヤリティ収入が4億46百万円で前年同期比8.9%の減、加盟料収入は23百万円で前年同期比1.1%の減、販促物その他売上高が58百万円で前年同期比15.2%の増でありました。

③ 商品部門の販売の状況

商品部門の売上は、F C 加盟店及びサプライヤーに対する食材、酒類等の販売であり、売上高は17億92百万円で前年同期比10.8%の減となりました。

その主な内訳は、食材等の販売は14億86百万円で前年同期比8.7%の減、酒類等の販売は3億5百万円で前年同期比19.9%の減でありました。

④ その他部門の販売の状況

その他部門売上高は2億25百万円で前年同期比13.9%の増となりました。

【業態別出退店の状況】

直営店及びF C加盟店を合わせた当社グループ全店の店舗数は424店で、前期末店舗数比較で23店減少となりました。期間中の新規出店は30店、退店は53店でありました。

		前事業年度					当事業年度				
		自 2018年4月1日					自 2019年4月1日				
		至 2019年3月31日					至 2020年3月31日				
		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数	
	増減数					増減数					
直営店	酔虎伝	16	2	1	17	1	17	1	2	16	△1
	八剣伝	66	7	5	68	2	68	8	8	68	-
	居心伝	28	-	1	27	△1	27	-	5	22	△5
	串まん	2	-	1	1	△1	1	-	-	1	-
	八右衛門	4	-	-	4	-	4	-	-	4	-
	焼そばセンター	2	6	-	8	6	8	4	2	10	2
	マルケン	1	2	-	3	2	3	5	-	8	5
	その他	11	1	5	7	△4	7	4	2	9	2
小計	130	18	13	135	5	135	22	19	138	3	
F C 加盟店	酔虎伝	20	-	1	19	△1	19	-	4	15	△4
	八剣伝	279	4	19	264	△15	264	4	23	245	△19
	居心伝	17	-	4	13	△4	13	-	3	10	△3
	その他	17	1	2	16	△1	16	4	4	16	-
小計	333	5	26	312	△21	312	8	34	286	△26	
合計	463	23	39	447	△16	447	30	53	424	△23	

【直営料飲店の出店及び退店の状況】

直営店の出店は新規出店が8店、F C加盟店からの譲受が5店、他業態からの業態変更が9店で計22店でありました。退店は完全退店が10店、F C加盟店への譲渡が1店舗、他業態への業態変更が8店で計19店でありました。

	出店					退店				
	新規出店	F C加盟店 からの譲受	業態変更	計		完全退店	F C加盟店 への譲渡	社員独立	業態変更	計
酔虎伝	-	1	-	1	酔虎伝	-	-	-	2	2
八剣伝	5	-	3	8	八剣伝	4	1	-	3	8
居心伝	-	-	-	-	居心伝	3	-	-	2	5
その他	3	4	6	13	その他	3	-	-	1	4
計	8	5	9	22	計	10	1	-	8	19

【F C加盟店の出店及び退店の状況】

F C加盟店の出店は新規出店が5店、直営店からの譲受が1店、業態変更が2店で計8店でありました。退店は完全退店が29店、直営店への譲渡が3店、業態変更が2店で計34店でありました。

	出店						退店			
	新規出店	直営店から の譲受	社員独立	業態変更	計		完全退店	直営店への 譲渡	業態変更	計
酔虎伝	-	-	-	-	-	酔虎伝	3	1	-	4
八剣伝	3	1	-	-	4	八剣伝	21	-	2	23
居心伝	-	-	-	-	-	居心伝	3	-	-	3
その他	2	-	-	2	4	その他	2	2	-	4
計	5	1	-	2	8	計	29	3	2	34

(2) 当期の財政状態の概況
資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	2019年3月期末	当事業年度	増減
資産の部	5,148	4,213	△934
負債の部	2,236	1,746	△490
純資産の部	2,911	2,467	△444

当事業年度末における資産は、有形固定資産の取得による支出や配当金の支払いによる現金及び預金が6億46百万円の減少、F C加盟店の店舗数減少に伴う売掛金1億5百万円の減少等により、前事業年度末に比べ9億34百万円減少し、42億13百万円となりました。負債総額は、前事業年度期末日が休日等の影響により買掛金が3億24百万円の減少等により、前事業年度末に比べ4億90百万円減少し、17億46百万円となりました。純資産につきましては、配当金の支払いや当期純損失の計上により4億44百万円減少し、24億67百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況
キャッシュ・フローの状況に関する分析

(単位：百万円)

項目	前事業年度	当事業年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	372	△199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△408	△365
財務活動によるキャッシュ・フロー	△80	△80
現金及び現金同等物の増減額	△116	△646
現金及び現金同等物の期末残高	2,269	1,622

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、営業活動によるキャッシュ・フローが1億99百万円の支出、投資活動によるキャッシュ・フローが3億65百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが80百万円の支出となったことにより、前事業年度末と比べて6億46百万円減少し、16億22百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は1億99百万円であります。これは主に税引前当期純損失3億26百万円の計上に加え、仕入債務3億24百万円の減少、非資金項目の減価償却費2億15百万円、減損損失3億10百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は3億65百万円であります。これは主に有形固定資産の取得による支出3億27百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は80百万円であります。これは配当金の支払額80百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
自己資本比率 (%)	59.2	61.6	57.1	56.6	58.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	125.6	131.4	125.2	121.0	101.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	-	-	-	-	-
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	-	-	-	-	-

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

1. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。
2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。
3. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染拡大による2020年4月7日の緊急事態宣言発令後、当社は全国のほぼ直営店舗の営業を自粛もしくは営業内容の見直しを実施しており、現時点において通常営業の見込みも立たないため業績予想の合理的な算定をすることは著しく困難と判断し、2021年3月期の業績予想は未定といたします。なお、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が終息に向かい、その算定が可能と判断した時点をもって、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,269,093	1,622,948
売掛金	423,123	317,655
商品及び製品	13,628	13,361
原材料及び貯蔵品	36,925	39,805
前払費用	75,021	82,377
その他	66,228	102,106
貸倒引当金	△20	△3,258
流動資産合計	2,884,000	2,174,997
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	944,564	767,847
構築物(純額)	22,610	21,367
工具、器具及び備品(純額)	84,380	77,290
土地	198,805	198,805
建設仮勘定	27,596	-
有形固定資産合計	1,277,956	1,065,310
無形固定資産		
無形固定資産	87,986	104,413
投資その他の資産		
投資有価証券	12,295	8,616
出資金	41	40
長期貸付金	21,178	14,858
破産更生債権等	9,094	10,037
長期前払費用	12,079	21,906
差入保証金	851,711	818,277
その他	16,829	22,205
貸倒引当金	△24,683	△26,683
投資その他の資産合計	898,546	869,259
固定資産合計	2,264,490	2,038,982
資産合計	5,148,491	4,213,980

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	770,113	445,155
未払金	447,954	346,161
未払費用	10,217	6,471
未払法人税等	68,185	39,411
前受金	4,708	2,330
預り金	66,430	62,547
前受収益	42,066	43,186
賞与引当金	69,007	43,981
株主優待引当金	30,059	34,963
資産除去債務	1,387	16,430
その他	54,228	77,547
流動負債合計	1,564,360	1,118,188
固定負債		
繰延税金負債	17,417	11,530
資産除去債務	195,164	189,657
長期預り保証金	368,640	342,250
その他	90,908	84,605
固定負債合計	672,130	628,044
負債合計	2,236,491	1,746,232
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,510,530	1,510,530
資本剰余金		
資本準備金	816,726	816,726
その他資本剰余金	802,663	802,663
資本剰余金合計	1,619,390	1,619,390
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	231,910	△209,788
利益剰余金合計	231,910	△209,788
自己株式	△453,319	△453,319
株主資本合計	2,908,511	2,466,812
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,488	935
評価・換算差額等合計	3,488	935
純資産合計	2,911,999	2,467,748
負債純資産合計	5,148,491	4,213,980

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	8,587,117	8,362,067
売上原価	3,423,031	3,228,331
売上総利益	5,164,085	5,133,735
販売費及び一般管理費	5,092,074	5,246,181
営業利益又は営業損失(△)	72,011	△112,445
営業外収益		
受取利息	1,500	953
受取配当金	464	494
受取家賃	18,766	18,761
解約返戻金	8,555	4,510
その他	18,232	11,605
営業外収益合計	47,520	36,324
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	3,236	3,774
営業支援金	-	7,976
その他	700	1,296
営業外費用合計	3,936	13,047
経常利益又は経常損失(△)	115,594	△89,169
特別利益		
固定資産売却益	407	4,090
受取補償金	35,545	92,813
特別利益合計	35,952	96,903
特別損失		
固定資産除却損	2,394	16,812
固定資産売却損	15,689	0
減損損失	31,358	310,553
賃貸借契約解約損	1,440	6,879
特別損失合計	50,881	334,245
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	100,665	△326,510
法人税、住民税及び事業税	44,944	39,665
法人税等調整額	3,493	△4,761
法人税等合計	48,438	34,904
当期純利益又は当期純損失(△)	52,227	△361,414

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,510,530	816,726	802,663	1,619,390	259,968	259,968
当期変動額						
剰余金の配当					△80,284	△80,284
当期純利益又は当期純損失(△)					52,227	52,227
自己株式の取得						
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	-	-	-	-	△28,057	△28,057
当期末残高	1,510,530	816,726	802,663	1,619,390	231,910	231,910

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△453,255	2,936,632	5,134	5,134	2,941,767
当期変動額					
剰余金の配当		△80,284			△80,284
当期純利益又は当期純損失(△)		52,227			52,227
自己株式の取得	△63	△63			△63
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△1,646	△1,646	△1,646
当期変動額合計	△63	△28,120	△1,646	△1,646	△29,767
当期末残高	△453,319	2,908,511	3,488	3,488	2,911,999

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	1,510,530	816,726	802,663	1,619,390	231,910	231,910
当期変動額						
剰余金の配当					△80,284	△80,284
当期純利益又は当期 純損失(△)					△361,414	△361,414
自己株式の取得						
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)						
当期変動額合計	-	-	-	-	△441,698	△441,698
当期末残高	1,510,530	816,726	802,663	1,619,390	△209,788	△209,788

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△453,319	2,908,511	3,488	3,488	2,911,999
当期変動額					
剰余金の配当		△80,284			△80,284
当期純利益又は当期 純損失(△)		△361,414			△361,414
自己株式の取得	-	-			-
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)			△2,552	△2,552	△2,552
当期変動額合計	-	△441,698	△2,552	△2,552	△444,251
当期末残高	△453,319	2,466,812	935	935	2,467,748

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	100,665	△326,510
減価償却費	187,283	215,819
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,252	△25,026
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,241	5,239
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△1,507	4,903
受取利息及び受取配当金	△1,964	△1,447
固定資産売却損益(△は益)	15,282	△4,090
受取補償金	△35,545	△92,813
減損損失	31,358	310,553
固定資産除却損	2,394	16,812
売上債権の増減額(△は増加)	79,982	105,468
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,552	△2,613
仕入債務の増減額(△は減少)	△22,262	△324,958
その他の流動資産の増減額(△は増加)	8,224	△16,373
その他の流動負債の増減額(△は減少)	17,730	△54,854
その他	△5,585	△28,939
小計	379,594	△218,830
利息及び配当金の受取額	1,730	1,214
補償金の受取額	26,545	86,324
法人税等の支払額	△35,115	△68,490
営業活動によるキャッシュ・フロー	372,755	△199,781
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	35,000	-
差入保証金の差入による支出	△26,319	△8,157
差入保証金の回収による収入	10,106	12,618
有形固定資産の取得による支出	△416,465	△327,149
有形固定資産の売却による収入	9,999	11,888
有形固定資産の除却による支出	△800	△55
無形固定資産の取得による支出	△10,960	△36,860
その他	△9,201	△18,162
投資活動によるキャッシュ・フロー	△408,640	△365,877
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△80,324	△80,485
自己株式の取得による支出	△63	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△80,388	△80,485
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△116,272	△646,144
現金及び現金同等物の期首残高	2,385,366	2,269,093
現金及び現金同等物の期末残高	2,269,093	1,622,948

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額 362円71銭 1株当たり当期純利益金額 6円51銭	1株当たり純資産額 307円38銭 1株当たり当期純損失金額 △45円02銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注) 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益金額又は当期純損失金額(△)(千円)	52,227	△361,414
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額又は 当期純損失金額(△)(千円)	52,227	△361,414
期中平均株式数(千株)	8,028	8,028

(重要な後発事象)

(多額の資金の借入)

当社は、2020年5月15日開催の取締役会において、2020年5月末日までに次のとおり資金の借入を行うことを決議いたしました。

- (1) 資金の用途 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響による不測の事態に備えた予備資金
- (2) 借入先 取引先金融機関5社(予定)
- (3) 借入金額 最大2,100百万円(予定)(注1)
- (4) 借入利率 基準金利+スプレッド
- (5) 借入実行日 2020年5月末(注2)
- (6) 借入期間 1年間(予定)
- (7) 担保等の有無 無担保・無保証

注1) 2020年4月末日付けで既に取引先金融機関1社から500百万円の借入を行っており、上記「(2)借入金額」記載の最大2,100百万円には、その金額も含んでおります。

注2) 「(4)借入実行日」記載の2020年5月末に予定している資金借入は、残額1,600百万円となります。